

平成 28 年度事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

1) 平成 28 年度助成事業について

(1) 若手芸術家の在外研修に対する助成

① 募集 (募集期間、平成 27 年 10 月 1 日～11 月 12 日)

- ア. 美術系大学、美術館等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、122 件であった。

ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。

- a. 発想の独創性
- b. 研修計画の実現性
- c. 美術界への貢献度
- d. 財団の助成対象としての適合性

イ. 平成 28 年 2 月 24 日開催の第 7 回選考委員会における合議によって、17 名の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。

ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 28 年 2 月 29 日、助成対象者 17 名を決定し、本人に通知した。(助成額 48,490 千円)

(2) 在外研修終了後の成果発表 (展示会開催) に対する助成

① ポーラミュージアムアネックス展 2016 映像と動勢

- ア. 開催期間 平成 27 年 3 月 25 日～4 月 17 日 (24 日間)
- イ. 開催場所 ポーラ銀座ビル 3 階 ポーラミュージアムアネックス
- ウ. 出展作家 4 名
- エ. 入場者数 2,216 名 (レセプション含む)
- オ. 助成金額 6,643 千円

② アートフェア東京 2016

- ア. 開催期間 平成 28 年 5 月 11 日～5 月 14 日 (4 日間)
- イ. 開催場所 東京国際フォーラム ホール E
- ウ. 出展作家 1 名
- エ. 助成金額 5,323 千円

③ポーラミュージアムアネックス展2017 感受と創発

- ア. 開催期間 平成29年3月3日～3月26日(24日間)
- イ. 開催場所 ポーラ銀座ビル3階 ポーラミュージアムアネックス
- ウ. 出展作家 4名
- エ. 入場者数 3,415名(レセプション含む)
- オ. 助成金額 6,226千円

④アートフェア東京2017

- ア. 開催期間 平成29年3月16日～3月19日(4日間)
- イ. 開催場所 東京国際フォーラム ホールE
- ウ. 出展作家 4名
- エ. 助成金額 5,115千円

(助成額計23,307千円)

(3) 美術館職員の調査研究に対する助成

① 募集(募集期間、平成27年10月1日～11月12日)

- ア. 美術館、博物館等約400施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約70箇所にも周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web媒体、美術専門誌約200社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、29件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。

- a. 発想の独創性
- b. 研修計画の実現性
- c. 美術界への貢献度
- d. 美術館充実への貢献度
- e. 財団の助成対象としての適合性

- イ. 平成28年2月24日開催の第7回選考委員会における合議によって、12件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。

- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成28年2月29日、助成対象者12件を決定し、本人に通知した。(助成額16,860千円)

(4) 美術に関する国際交流助成

① 募集（募集期間、平成 27 年 10 月 1 日～11 月 12 日）

- ア. 美術館、大学等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、84 件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。
 - a. 主催者ないし主催団体
 - b. 会議のテーマと実績
 - c. 全体の規模と参加者
 - d. 会議の成果と、その成果の公表方法
- イ. 平成 28 年 2 月 24 日開催の第 7 回選考委員会における合議によって、12 件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 28 年 2 月 29 日、助成対象者 12 件を決定し、本人に通知した。（助成額 20,250 千円）

(5) 助成対象者に対する贈呈式・懇親会の開催

平成 28 年 4 月 4 日、ポーラミュージアムアネックス（東京都中央区銀座 1-7-7）において、当財団関係者出席のもと第 21 回助成金贈呈式を開催し、理事長より助成対象者へ目録の贈呈を行った。引続き同ビル内において懇親会を開催した。

2) 美術館事業について

(1) 企画展

- 平成 28 年 4 月 1 日～9 月 4 日

「Modern Beauty フランスの絵画と化粧道具、ファッションにみる美の近代」 展開催。

(会期：平成 28 年 3 月 19 日～9 月 4 日)

来館者：78,740 人

- 平成 28 年 9 月 10 日～平成 29 年 3 月 3 日

「ルソー、フジタ、写真家アジェのパリ 境界線への視線」 展開催。

来館者：81,184 人

- 平成 29 年 3 月 18 日～9 月 24 日

「ピカソとシャガール 愛と平和の讃歌」 展開催。

(会期：平成 29 年 3 月 18 日～9 月 24 日)

来館者：10,933 人 *平成 29 年 3 月末現在

(2) 美術館内（講堂、展示室、遊歩道等）でのレクチャー（無料）

① 企画展関連

ア. 「Modern Beauty」展

平成 28 年 4 月 16 日（土） （参加 19 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子
平成 28 年 5 月 21 日（土） （参加 22 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子
平成 28 年 6 月 18 日（土） （参加 38 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子
平成 28 年 7 月 16 日（土） （参加 17 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 工藤弘二
平成 28 年 8 月 20 日（土） （参加 18 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 工藤弘二

イ. 「ルソー、フジタ、写真家アジェのパリ」展

平成 28 年 9 月 18 日 (日) (参加 30 名)	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子
平成 28 年 10 月 8 日 (土) (参加 20 名)	展覧会記念講演会 「ベル・エポックの光と影—アジェとその時代」 講師 慶應義塾大学教授 小倉孝誠
平成 28 年 11 月 19 日 (土) (参加 18 名)	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子
平成 29 年 1 月 8 日 (日) (参加 のべ 382 名)	「第五回ギャラリートーク 駅伝」 箱根駅伝の形式で計 10 回、美術館学芸員 6 名が リレートークを実施。
平成 29 年 1 月 21 日 (土) (参加 20 名)	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 山埜菜未
平成 29 年 2 月 18 日 (土) (参加 22 名)	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子

ウ. 「ピカソとシャガール」展

平成 29 年 3 月 25 日 (土) (参加 35 名)	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子
-----------------------------------	----------------------------------

② 常設展関連

- ・平成 28 年 7 月 9 日 (土) コレクション・トーク
「コレクションの 3 つの魅力」
(参加 25 名) 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- ・平成 28 年 12 月 3 日 (土) コレクション・トーク
「室内画の魅力—マティス《リュート》を中心に」
(参加 20 名) 講師 ポーラ美術館学芸員 近藤萌絵

(3) 美術館外での学芸活動（講演会等）

生涯学習普及活動の一環として、館員が他の美術館等において、講演会を行っている。

- ・ 平成 28 年 4 月 13 日（水） arara ラウンジ（港区）
「Modern Beauty 展スペシャルトークイベント」
講師 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子他
- ・ 平成 28 年 4 月 16 日（土） 島根県立美術館 美術館ホール
ポーラ美術館コレクション「モネからピカソ、シャガールへ」展
記念講演会「光彩の画家・陰翳の画家—1900 年前後のフランス美術」
講師 ポーラ美術館館長 木島俊介
- ・ 平成 28 年 7 月 2 日（土） 北海道立近代美術館講堂
ポーラ美術館コレクション「モネからピカソ、シャガールへ」展
記念講演会「光彩の画家・陰翳の画家—1900 年前後のフランス美術」
講師 ポーラ美術館館長 木島俊介
- ・ 平成 28 年 9 月 17 日（土） 宮城県美術館講堂
ポーラ美術館コレクション「モネからピカソ、シャガールへ」展
記念講演会「光彩の画家・陰翳の画家—1900 年前後のフランス美術」
講師 ポーラ美術館館長 木島俊介

(4) 授業の一環として美術館を利用する際の優遇措置

① 小中学生が授業の一環として利用する際の入館料無料（引率教員を含む）

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの利用者数 373 名（前年 282 名）

- ・ 平成28年 4月22日（金） 東京女子学園中学校（児童・教員 55名）
- ・ 平成28年 4月28日（木） 静岡雙葉中学校（児童・教員 150名）
- ・ 平成28年 7月25日（月） 箱根町立箱根中学校（児童・教員 18名）
- ・ 平成28年 7月27日（水） 静岡市立城内中学校（児童・教員 35名）
- ・ 平成28年 7月27日（水） 箱根町立箱根中学校（児童・教員 9名）
- ・ 平成28年 7月30日（土） 小田原市立千代中学校（児童・教員 15名）
- ・ 平成28年 8月27日（土） 実践女子学園中学校（児童・教員 20名）
- ・ 平成28年10月22日（土） 御殿場市立原里中学校（児童・教員 18名）
- ・ 平成28年11月30日（水） 箱根町立仙石原小学校（児童・教員 20名）
- ・ 平成29年 2月15日（水） 函嶺白百合学園中等部（児童・教員 33名）

② 土曜日の小中学生無料（地域に関係なく全国の小中学生を対象）

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの利用者数 1047 名（前年 924 名）

(5) ワークショップ(参加学習)

① 子どものためのワークショップ

・平成 28 年 7 月 30 日（水） 「夏休み子ども美術鑑賞会」

子ども 15 名、保護者 12 名参加

*平成 27 年は箱根山の噴火警戒レベルが上昇したため中止。28 年に再開した。

② 学校授業の一環としてのワークショップ

・平成 28 年 7 月 21 日（木） 「静岡理工科大学事前レクチャー（出張）」

学生 24 名、教員 1 名参加

美術館での鑑賞に向けて、学芸員がレクチャーを行った。

・平成 28 年 8 月 4 日（木） 「静岡理工科大学レクチャー」

学生 24 名、教員 1 名参加

学芸員による Modern Beauty 展のレクチャー及びワークシートを作成し発表を行った。

・平成 28 年 7 月 25 日（月）、27 日（水） 「箱根町立箱根中学校 鑑賞教室」

学生 25 名、教員 2 名参加（合計）

風景画に関するワークシートを作成し発表を行った。

・平成 28 年 2 月 6 日（月） 「函嶺白百合学園中等部事前授業（出張）」

生徒 30 名、教員 3 名参加

「ルソー、フジタ、写真家アジェのパリ」展のレクチャーを行った。

・平成 28 年 2 月 15 日（水） 「函嶺白百合学園中等部鑑賞授業」

生徒 30 名、教員 3 名参加

「私の好きな風景」をテーマに風景画を各自作成し発表を行った。

③ 企画展・常設展関連のワークショップ

・平成 28 年 10 月 15 日（金）

「針穴写真のワークショップ アジェの時間を追体験しよう」

（参加 11 名） 講師 田所美恵子（針穴写真協会会長）

組み立て式針穴カメラを用いて、屋外で撮影し、現像まで行った。

(6) 美術館内サービス

①情報コーナー

館内情報コーナーに設置の5台のパソコンにて「収蔵品案内」を公開。約1,100点の作品の検索が可能。展示に沿った解説、作品の細部まで鑑賞できる高精細画像に加え、画家の制作の背景を紹介した動画が好評。

②『小中学生のための鑑賞ガイド』

学芸部の教育普及担当と企画展担当者の連携により、小中学生向けの企画展鑑賞ガイドを製作、入館時に受付で配布している。子ども向けの普及活動として一定の効果をあげている。

3) その他事業について

当財団収蔵の美術品を下記の展覧会に出品した。(合計104点)